

問1 政府が行う財政活動の一つである「所得の再分配」の説明として、目的と仕組みが正しく述べられているものはどれですか。

(2025年 宮城県公立入試 類似)

- 所得の多い人に高い税率を課す累進課税や社会保障制度を通じて、納税後の所得格差を縮小させる仕組み。
- 独占禁止法に基づいて大企業の経済活動を制限し、中小企業と個人の所得が均等になるように調整する仕組み。
- 不況時に減税や公共事業の拡大を行うことで、国民の可処分所得を増やし、景気の安定を図る仕組み。
- 消費税の税率を全世代で一律に固定することで、社会保障の財源を確保し、世代間の税負担の公平性を保つ仕組み。

問2 日本の財政において、累進課税制度が持つ「所得の再分配」という機能について述べた以下の説明のうち、空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせはどれですか。「累進課税制度は、所得が高い人ほど高い税率を適用する仕組みであり、これによって税金納付後の（ ）を減らす効果がある。」 (2024年 大分県公立入試 類似)

- 所得の格差
- 物価の変動
- 消費の総量
- 貯蓄の割合

問3 不景気の際、政府が景気を刺激して上向かせるために実施する「財政政策」の内容として、最も適切な説明はどれですか。

(2023年 奈良公立入試 類似)

- 公共事業を拡大して仕事の機会を増やしたり、減税を行って消費を促したりする。
- 公共事業を縮小して政府の支出を抑え、増税を行って市場の通貨量を減らす。
- 日本銀行が一般の銀行から国債を買い入れ、市場に流通する通貨の量を増やす。
- 日本銀行が一般の銀行へ国債を売却し、市場から通貨を回収して金利を上げさせる。

問4 税金は「納税義務者（税金を納める人）」と「実質的な税負担者（税金を支払う人）」が同じか異なるかによって分類されます。消費税のように、商品の価格に含まれる形で消費者が負担し、事業者が代わりに納める税金の分類名と、所得税に適用される課税方式の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

- 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が高いほど税率が上がる累進課税が適用される。
- 消費税は直接税に分類され、所得税には所得に関わらず一定の金額を徴収する仕組みが適用される。
- 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が低いほど税率が上がる逆進的な仕組みが適用される。
- 消費税は直接税に分類され、所得税には納税者と負担者が異なる所得の再分配が適用される。

問5 日本の租税制度において、所得税などの直接税は「所得が高いほど税率が高くなる」仕組みをとっています。これに対し、消費税などの間接税では、低所得者の所得に対する税負担率が、高所得者のそれと比較して高くなってしまおうという課題があります。この現象の背景と名称について正しく述べたものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

- 納税者と担税者が異なる間接税において、一律の税率が課されるために起こる逆進性
- 納税者と担税者が一致する直接税において、所得に関わらず一定額を徴収するために起こる逆進性
- 所得の再分配を目的として、高所得者に重い負担を求めるために起こる累進性
- 景気調整の役割を果たすために、消費を抑制する目的で行われる垂直的公平

問6 所得税のように、納税者と担税者が一致する「直接税」という仕組みについて説明した文章として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

- 税金を負担する人と、その税金を税務署などに納める義務がある人が同じである仕組み
- 商品の代金に税金が含まれており、消費者が店舗などを通じて間接的に納める仕組み
- 輸入品の価格に対して課される税金で、国境を通過する際に徴収される仕組み
- すべての国民が所得の多寡にかかわらず、一律の金額を国に納付する仕組み

問7 日本の租税制度において、所得税と消費税の性質を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

- 所得税は納税者と税負担者が同じ直接税であり、所得が高くなるほど税率が高くなる累進課税が採用されている。
- 所得税は納税者と税負担者が異なる間接税であり、所得に関わらず一律の金額を納める仕組みである。
- 消費税は納税者と税負担者が同じ直接税であり、所得の少ない人ほど負担が軽くなる性質を持っている。
- 消費税は納税者と税負担者が異なる間接税であり、所得が多い人ほど所得に対する税負担の割合が高くなる。

問8 日本の財政において採用されている累進課税制度の仕組みと目的について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2022年

神奈川県公立入試 類似)

- 所得の高い人ほど高い税率を適用することで、経済的な格差を調整し所得を再分配する。
- 全ての国民の所得に対して同一の税率を適用し、景気の変動に左右されない安定した税収を確保する。
- 不景気の際に公共事業への支出を減らすことで、国の財政赤字を早期に解消する。
- 予算の作成だけでなく、予算と決算の議決についてもすべて内閣の権限で行う。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|--|--|
| 問1 | 答え 1 所得の多い人に高い税率を課す累進課税や社会保障制度を通じて、納税後の所得格差を縮小させる仕組み。 | 市場経済の仕組みに任せているだけでは、個人の能力や環境によって大きな貧富の差が生まれてしまいます。政府は、所得税における累進課税によって高所得者から多くの税金を集め、それを生活保護や年金などの社会保障給付として所得の低い人々へ供給することで、経済的な格差を是正します。これは「資源の配分」「景気の安定（調整）」と並ぶ、財政の重要な機能の一つです。 |
| 問2 | 答え 1 所得の格差 | 累進課税制度は、所得の多い層に対して高い税率を課す一方で、所得の低い層の負担を相対的に軽くする仕組みです。これにより、税金を支払った後の手元に残る金額の差が、税金を支払う前の差よりも小さくなるため、社会全体の所得の格差が是正されることとなります。 |
| 問3 | 答え 1 公共事業を拡大して仕事の機会を増やしたり、減税を行って消費を促したりする。 | 不景気のときには社会全体の需要（有効需要）が不足しているため、政府は公共事業を増やして雇用を創出したり、減税を行って家計や企業の支出を助けたりすることで、経済を活性化させようとします。選択肢にある日本銀行による国債の売買は「金融政策」にあたるため、政府が行う「財政政策」とは区別する必要があります。 |
| 問4 | 答え 1 消費税は間接税に分類され、所得税には所得が高いほど税率が上がる累進課税が適用される。 | 消費税は、税金を負担する消費者と、実際に窓口で納税する事業者が異なるため「間接税」に分類されます。一方、所得税は自分で直接納める「直接税」であり、所得の額に応じて税率が変化する「累進課税」が採用されています。間接税である消費税には、所得の低い人ほど収入に対する税負担の割合が重くなる「逆進性」という課題があることも重要です。 |
| 問5 | 答え 1 納税者と担税者が異なる間接税において、一律の税率が課されるために起こる逆進性 | 所得税のような直接税は、負担能力に応じて課税する「累進課税」を採用して所得格差を是正する所得再分配機能を持ちます。一方、消費税のような間接税は、誰が購入しても同じ税率であるため、生活に必要な支出が所得に占める割合が高い低所得層にとって、実質的な税負担が重くなる「逆進性」という問題が生じます。この対策として、日本では特定の品目の税率を抑える軽減税率制度などが導入されています。 |
| 問6 | 答え 1 税金を負担する人と、その税金を税務署などに納める義務がある人が同じである仕組み | 直接税は、納税義務者と実質的な税の負担者が切り離されていない税種を指します。所得税のほか、法人税や相続税がこれに該当します。この仕組みは、負担者の経済的状況に応じた課税（垂直的公平）を実現しやすい特徴があります。 |
| 問7 | 答え 1 所得税は納税者と税負担者が同じ直接税であり、所得が高くなるほど税率が高くなる累進課税が採用されている。 | 所得税は、自分で直接税務署などに納める「直接税」に分類されます。日本の所得税は、所得金額が上がるにつれて適用される税率も段階的に高くなる「累進課税」制度をとっており、所得の再分配機能を果たしています。一方、消費税は商品の価格に含まれる形で消費者が負担し、事業者が納める「間接税」であり、所得に関わらず同じ税率が適用されます。 |
| 問8 | 答え 1 所得の高い人ほど高い税率を適用することで、経済的な格差を調整し所得を再分配する。 | 累進課税は、所得金額が上がるにつれて段階的に税率が高くなる制度である。この制度により、所得の多い世帯から集めた税金を、公共サービスや社会保障を通じて所得の低い世帯へ還元することが可能となり、国民間の極端な格差を是正する「所得の再分配機能」が働いている。なお、予算の議決権は内閣ではなく国会に属している。 |